

# JR東労組新潟

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会

〒950-0086 新潟市花園1-1-5

# OB会ニュース

発行責任者 山崎次男

## 地本 OB会

## 第21回定期総会 結成20周年記念

## 盛大に 開催!

新潟地本OB会は6月25日(日)12時から第21回定期総会を開催しました。会場となった新潟市・東映ホテルには、委員・76名(舞祭などで3名が欠席)、来賓・講演者7名、支部OB会担当6名、役員9名の計98名が参加しました。

今総会では地本OB会結成20周年を迎えたことから記念の総会とし、1部・総会、2部・記念講演、3部・セッションの3部構成での開催となりました。

**議長には新津支部・佐々木委員**

総会では最初に昨年度くくなった会員のご冥福を祈り黙とうを捧げた後沖田副会長の司会で始まり、議長に新津支部の佐々木委員を選出、最初に



就任挨拶・佐々木議長

山崎会長の挨拶、続いて来賓の皆さんよりそれぞれの立場から挨拶をいただき、役員側より経過と方針、会計報告並びに会計監査報告、予算案、運営規則の一部改正(地本事務所移転に伴う住所変更)の提案を行い、5名の委員より発言を受け、本部、地本の答弁と高橋事務長の総括答弁がなされ、提

起した議案全てが満場一致採択されました。

続いて、役員体制(全員留任)が承認され、最後に山崎会長の「団結カンパニー」で佐々木議長のスムーズな運営により成功裡に終了しました。

また、本部OB会の指示を受け取り組んだ「沖繩支援カンパニー」は、32,470円集まり会場で本部に手渡しました。

### 山崎会長挨拶

①、20周年を祝いたい。OB会員とそれを見守り育ててくれた皆さんに感謝する。②、2006年の総会ポイントをはじめ妨害、組織破壊を狙った連中の攻撃が繰り返されたが、仲間が強く組織は大きく回復、前進している。③、三つの目標(役員の世代交代、現役との交流を深める、支部活動・レク活動の活性化)の実現を目指す。④、「共謀罪」の強行成立や「壊憲」、また物価上昇や年金減額の状況の中でやりたい放題の安倍一強独裁政権。これらを打破すべく自民党議員を一人でも減らす取組みを展開しよう。⑤25・30年後に向かって「健康で元気で楽しいOB会」目指し、生涯現役の気持ちでOB会活動を進める。



団結カンパニー

### 発言要旨

直江津 野崎委員  
ポイント、組織破壊攻撃が吹き荒れた当時地本の幹事だった。再建し、今日を迎えられ感慨深い。共謀罪の成立など厳しいが、平和を求めるとともに楽しいOB会活動にしよう。

新津 小林委員

組織破壊を克服して来て今日がある。新津は大きな被害をこうむったが、会員が40名弱まで回復した。その過程でサークルの重要性を感じた。サークル活動を活性化しよう。

新津製造所 酒井委員

エルダー雇用時、エルダーに対する取組みが弱く不満を感じた。活動家だった組合員でもOB会に加入しない実態がある。支部で加入対策会議を開けないか。

長岡 大久保委員

支部OB会の「お花見会」に新加入の2名が参加してくれた。これは数度にわたるOB会加入の取組みをした結果で、参加者全員で歓迎した。

新しい会員証が来たが、「要らない」と言われたり非常に不満の残る会員証だった。



たので、「ミニネット処理し、活用出来るよう価値を高めて配布した。」  
 「戦争させない 9条壊すな」長岡総がかり行動実行委員会の提起するスタンディングや集会に9条連として参加している。地域での共同行動を強化しよう

新潟 田中委員



2006年、ヤジと怒号の総会だった。仲間を対立抗争に巻き込んだことに怒りを覚える。よくぞここまで再建できたことに感慨深い。高齢になれば誰でも確実に「認知症」になる。ただ生前中に発症するかもしれない。健康に注意し、元気にOB会活動を展開しよう 以上



新役員体制 (全員留任)

氏名	所屬
氏 名	属 属
山崎 次男	新潟直江津
細谷 邦彦	新潟岡潟
沖田 晴夫	新潟新潟
渡辺 文弘	新潟新潟
高橋 信吾	新潟新潟
清田 正治	新潟新潟
木村 満	新潟新潟
渡辺 忠男	新潟新潟
入澤 良一	新潟新潟

本年度も宜しくお願いします

記念講演 近藤 正道氏

「安倍の暴走と私たちの民主主義」  
 第2部・記念講演は、元参議院議員であり、現在弁護士として活躍されている、近藤正道氏より表題の内容の講演をいただきました。

講演は、特定秘密保護法や安保法、そして共謀罪法を強行成立させ、政治を私物化(加計問題など)し、暴走を続ける安倍首相の実態、特に「共謀罪」は、「国家が大量運動弾圧の武器を手に入れるもの」と狙いを明らかにし、運用を監視、廃止を求めたためかおつ。更には、安倍政権の「改憲」の前身にふれ、戦争政策と民主主義破壊、憲法改悪を許さないために声を挙げ続けよう。その為に野党共闘プラットフォームの統一をさらに進めよう、と



分り易く説明、今後の私たちの活動に生かす内容で、20周年に相応しい講演でした。

「来賓の皆さん

- 本部OB会 渡部副会長
- 伊藤事務局長
- 地本 中田委員長
- 県退職者連合会 早川会長
- 佐藤 眞議会議長
- 支社 増井勤労課長



挨拶する歴代会長

第3部しそセッション

緊張していた1部、2部を終え、喉も乾ぎつたころ、第3部記念しそセッションを開催しました。高橋事務局長の司会で始まり、山崎会長挨拶の後、歴代会長(小林寛一氏、渡部良司氏)より挨拶を受け、小林氏の「乾杯」の音頭で祝宴が開始されました。



各テーブルではお酒を注ぎ合ひ、「昔の思い出」「苦労したこと」「戦争政策を憂いていること」「近況と健康に関して」等々、盛り上がり、限られた時間でしたが大いに楽しみました。 以上

歓迎!

新加入された会員(全員エルトア組合員)です。会員みんなで歓迎します。健康で、元気に、楽しくOB会活動を頑張りましょう

加入月	氏名	所属
5月	海津 善明さん	新潟
6月	竹内 信宏さん	新潟
6月	相田 和彦さん	新潟
6月	小野沢 明さん	新潟
6月	山際 勝美さん	新潟
6月	石川 富一さん	新潟

柏崎刈羽原発差し止め訴訟

第19回口頭弁論報告

5月18日、新潟地裁(西森裁判長)で第19回口頭弁論が行われました。今回のメーンは2月14日に発覚した免震重要棟耐震虚偽説明問題で、あらためて東電の隠蔽体質と柏崎刈羽原発の重大事故対策の欠如が指摘されたことです。

「基準地震動に耐えられない免震重要棟は重大事故等での使用は許されない」との規制委員会の意向に、従来「震度7クラスでも支障が無い」と主張していた東電は争うことなく免震重要棟の使用を断念したのです。

東電はそれに代わるものとして5号炉建屋3階に「緊急時対策所」の設置を主張しているが、福島事故の教訓が生かされていない代物なのです。

福島第1では運転停止中だった4号機も水素爆発を起こした。その4号機と同じ場所に「緊急時対策所」を求めており、とても安全とは言えない場所なのです。

この免震重要棟や5号炉緊急時対策所の問題に加えて、若浜側防潮堤が地震による液状化で耐えられないことも明らかです。大地震の後に大津波が来ます。だから防潮堤の役割が果たせません。欠陥、問題山積のこの原発は止めるしかありません。 次回の口頭弁論の予定は、8月1日です。

投稿 F・T